

オーディオ実験室収載

ダンパーフレークの導入(10) ーバランスアナログラインー

1. 始めに

インフラノイズ社から、ターンテーブルアキュライザーTACU-1が発売され、その感想文を送るとダンパーフレークなる返礼品が送られてきました。前報(9)に引き続き、このものの応用を検討していきます。

2. ダンパーフレークの試聴方法

前報(3)では、TruPhaseと300Bアンプの間に介在するBACU-2000の出力端子に適用しました。今回同様のバランスアナログラインとして下記のBACU-2000の入力端子側のケーブル出力端子に適用してみます。

SONICA DAC→BACU-2000→DA-3000



このラインは、SONICA DACを経由するPCやDMR-UBZ1からの再生に使用するものです。なお、DMR-UBZ1からSONICA DACへのS/PDIF入力においては介在するDACU-500に、PCからSONICA DACへのUSB入力においては介在するUACU-700にダンパーフレークを既に貼っています。

音源は、DMR-UBZ1経由のBPODCHの再生とPC経由のファイル再生とします。DMR-UBZ1経由のBPODCHの再生では、既にルーターのLAN出力端子とHUBからのLAN出力端子にもダンパーフレークを貼っています。

BPODCHでは前報(2)と同様下記を再生します。PCのファイル再生は、ディスクグラフィアー(2022No.185)で報告した78回転アナログ盤から録音した5.6MHzDSD音源とします。

マーラー 交響曲第3番 ロレンツォ・ヴィオッティ指揮 BPO

ファリャ 三角帽子 ファン・メナ指揮 BPO

リスト ピアノ協奏曲第1番 キーシン(ピアノ)ヤンソンス指揮 BPO

3. ダンパーフレークの試聴結果

上記の位置にダンパーフレークを貼る前に聴いておき、貼ってから聴き直します。
BPODCH の再生のマーラーの交響曲第 3 番では冒頭のホルンの響きが豊かになり、ホールの残響音が増します。

ファリヤの三角帽子では、ソプラノの歌唱のホールへの残響が増し、金管や打楽器の切れがよくなります。

リストのピアノ協奏曲第 1 番では、スタンウェイの響板の響きが強くなり、オーケストラの分離がよくなります。

既に、ネットからのストリーミングに關与する LAN 端子と S/PDIF ラインの DACU-500 に貼ってありますので、それ以上の効果は期待していませんでしたが、さらなる上乘せ効果がありました。

5.6MHzDSD 音源再生では、元の 78 回転アナログ盤のトランジェントがどうなっているかが焦点ですが、5.6MHzDSD とは言え、若干の音の鈍りがあったのが薄れ、ピアノその他の音の滲みが取れ、切れ味が向上します。

既に、SONICA DAC への USB 入力ラインの UACU-700 に貼ってありますので、それ以上の効果は期待していませんでしたが、さらなる上乘せ効果がありました。

4. まとめ

SONICA DAC と DA-3000 の間のバランスラインへの適用の効果を認めました。

以上